



2026年4月期

第1四半期決算説明資料

株式会社gumi（証券コード 3903） | 2025年9月12日

目次

■ エグゼクティブサマリー	p. 2
■ その他トピックス	p.10
■ 各事業の進捗	p.14
■ 業績の推移	p.21
■ Appendix	p.26

■ エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー

Q1 決算サマリー

- ✓ 売上はQ4比で減収となるも、引き続き黒字を継続
- ✓ 筆頭株主であるSBIが当社株式を追加取得、さらなる事業連携の強化を図る

(百万円)

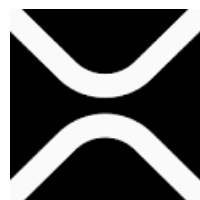
	売上高	営業利益	経常利益	税引前 当期純利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
Q1	1,354	72	1,234	1,270	1,247

トピックス

- ✓ SBIによる当社株式の追加取得により、暗号資産領域及びネオメディア領域においてさらなる連携を推進
- ✓ 新たに**XRP25億円を取得決議**、SBIグループとも連携のうえ、XRPのエコシステム発展に貢献
- ✓ 『ジョジョの奇妙な冒険 オラオラオーバードライブ (オラドラ)』を9月下旬にリリース予定
事前登録者数が70万人を突破、当社グループ過去最高を記録



SBIの当社議決権比率が
33.28%に増加



XRPを25億円取得（決議済み）



『オラドラ』
事前登録 70 万人突破

エグゼクティブサマリー：中期計画^(※1)の進捗

✓ Q1 税引前利益12.7億円を計上。中期計画に対して進捗率約41%^(※2)

2026年4月期

Q1 税引前利益^(※3)

12.7 億円

修正中期計画利益目標^(※3)

25～40億円

進捗率

中期計画に対して進捗率約41%



(※1) 2023年6月に策定され、2025年6月に修正されたものを指します

(※2) 約41%は、中央値ベースで算出（25～40億円に対する進捗率31.8%～50.8%の中央値）

(※3) 利益とは、税引前純利益のことを指します

エグゼクティブサマリー：SBIと資本関係を強化

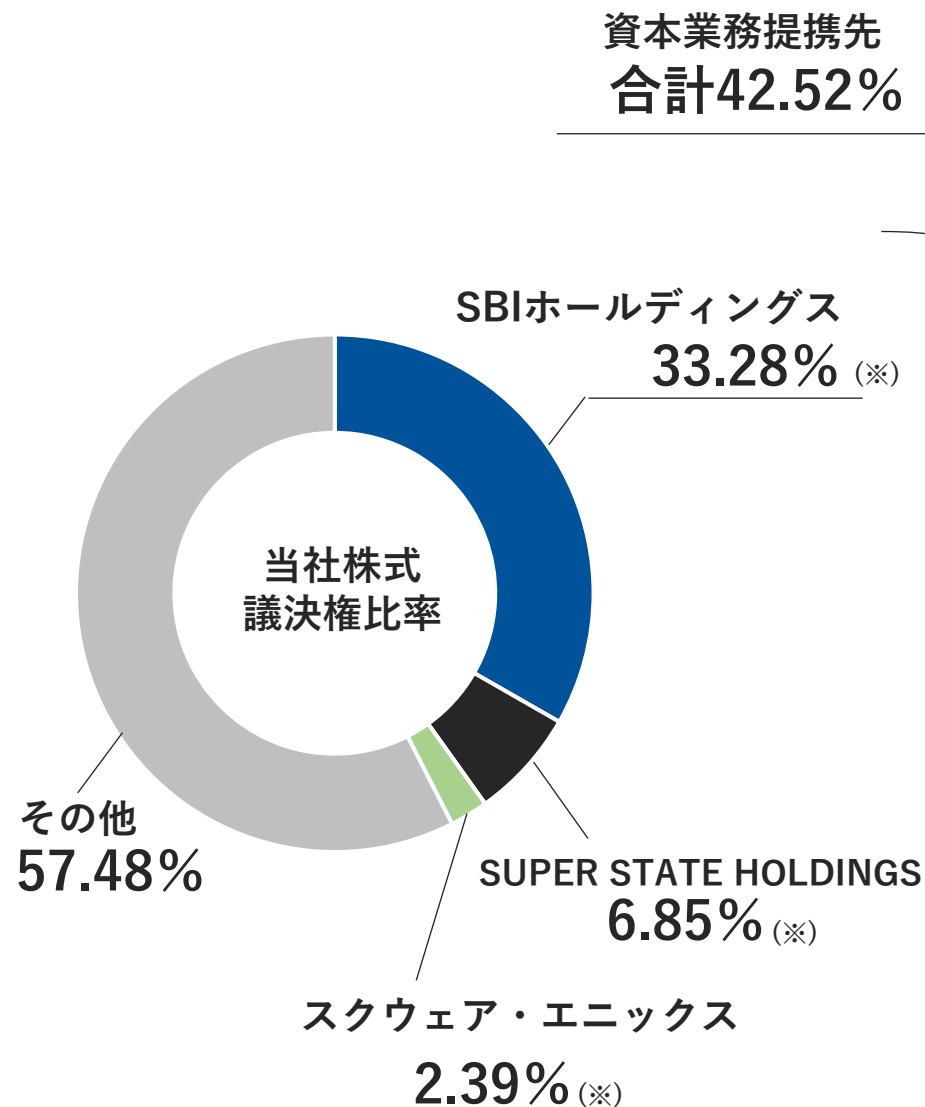
SBIが当社株式を追加取得
暗号資産領域及びネオメディア領域における連携を強化

資本強化の概要

- 2025年6月27日付で、SBIが当社株式650万株を追加取得し
議決権比率が33.28%に拡大。株主基盤がさらに安定
- SUPER STATE HOLDINGS、スクウェア・エニックス
との資本業務提携も継続

今後のSBIとの取組み内容

- 暗号資産ファンドの共同設立
上場暗号資産に投資する先駆的なファンドを設立
- XRP取得
XRP取得により金融領域での競争力を強化
- ネオメディア
IPを基盤とした新しい収益モデルを構築

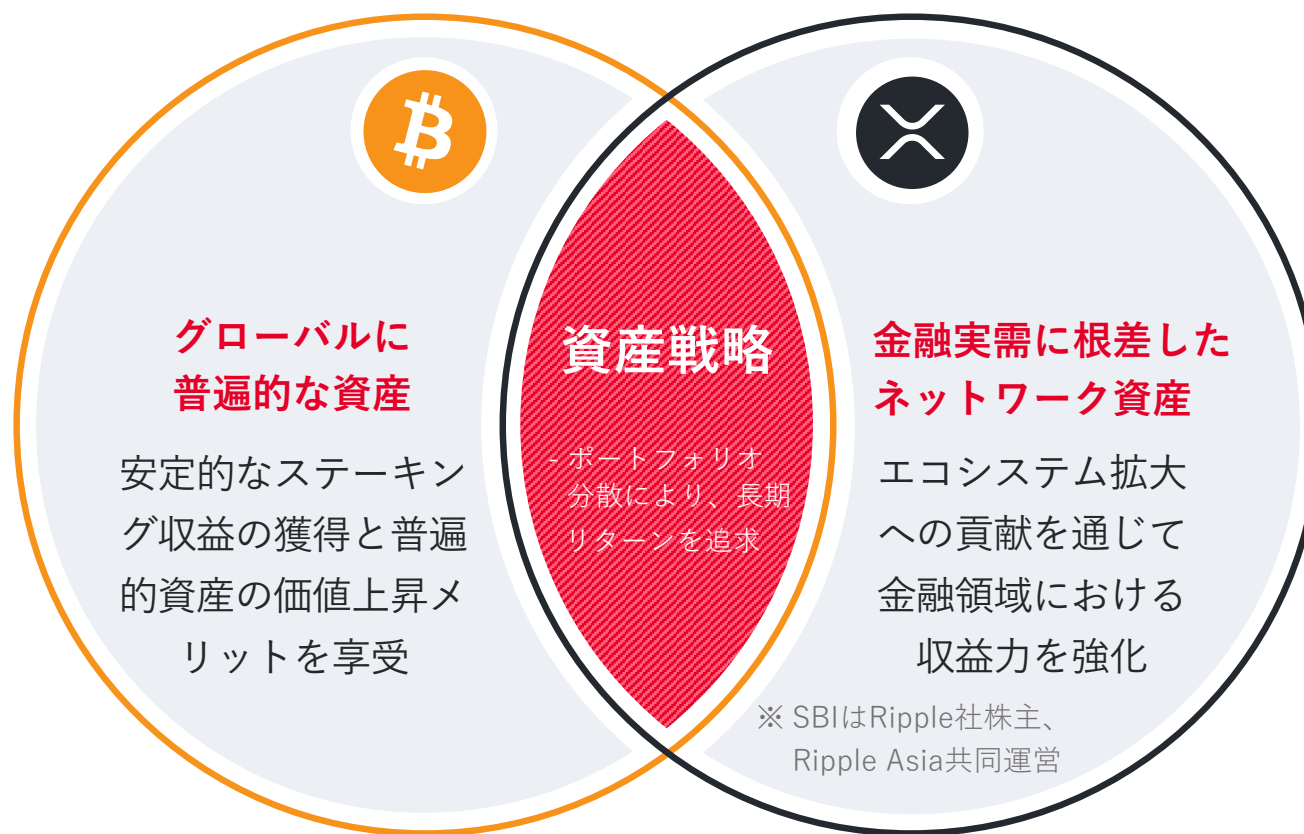


(※)議決権比率は2025年4月末時点の総株主の議決権の数(494,612個)に基づいて算出した数値です

■ エグゼクティブサマリー：暗号資産購入の理由と内容

XRP25億円分の取得を決議

BTCに加え、主要アルトコインであるXRPを取得し、XRPのエコシステムの発展に貢献



購入資産：XRP

購入金額：25億円

購入期間：2025年9月～2026年2月 予定

BTC + XRPの両軸 で、中長期的な企業価値向上を実現

エグゼクティブサマリー：『ジョジョの奇妙な冒険 オラオラオーバードライブ』

9月11日時点で事前登録者数**70万人を突破**
2025年9月下旬リリース予定



- ✓ 当社グループにおいて、過去最高の事前登録者数を記録
- ✓ Q2以降の収益拡大に向けた中核タイトル
- ✓ 圧倒的な人気を誇る原作と多様なファン層を背景に、持続的なユーザー基盤を構築

エグゼクティブサマリー：保有暗号資産の拡大

- Hinode Technologiesが受けた出資金は暗号資産へ転換中
- 取得決議済みのXRPはQ2以降に順次購入を予定
- SBIと共同でファンド設立を進めており、数十億円規模の運用資産拡大を見込む

(百万円)

		投資対象	暗号資産残高		収益の種類
			Q4末時点	Q1末時点	
gumi グループ	gumi Hinode Technologies (gumi×TIS) 他グループ各社	上場暗号資産(※)  bitcoin  Sui  ethereum  SOLANA ⋮	7,581	9,886	値上がり益 運用益

		投資対象	暗号資産残高		収益の種類
			2025年3月末時点	2025年6月末時点	
ファンド	gumi Cryptos Capital 1号	上場暗号資産	4,897	6,211	値上がり益
	gumi Cryptos Capital 2号	非上場暗号資産	7,088	7,516	
	Decima Fund				
	SBI 共同ファンド (gumi × SBI)	上場暗号資産	—	数十億円規模	

- 上記ファンドは6月末時点の情報をもとに記載しており、会計監査を受けたものではありません
- 上記数値は、トークン取得を目的としたSAFE等による出資残高を含みますが、株式への出資残高は含まれておりません
- 各ファンドについては、当社の関連会社となり、当社の持分が各々異なるため、当社帰属分はそれぞれ異なります

「収益の種類の意味」
 値上がり益：保有資産価格の上昇による利益
 運用益：ステーキング報酬などの継続収益

(※) 表示している暗号資産は一例です

エグゼクティブサマリー：保有暗号資産残高の推移

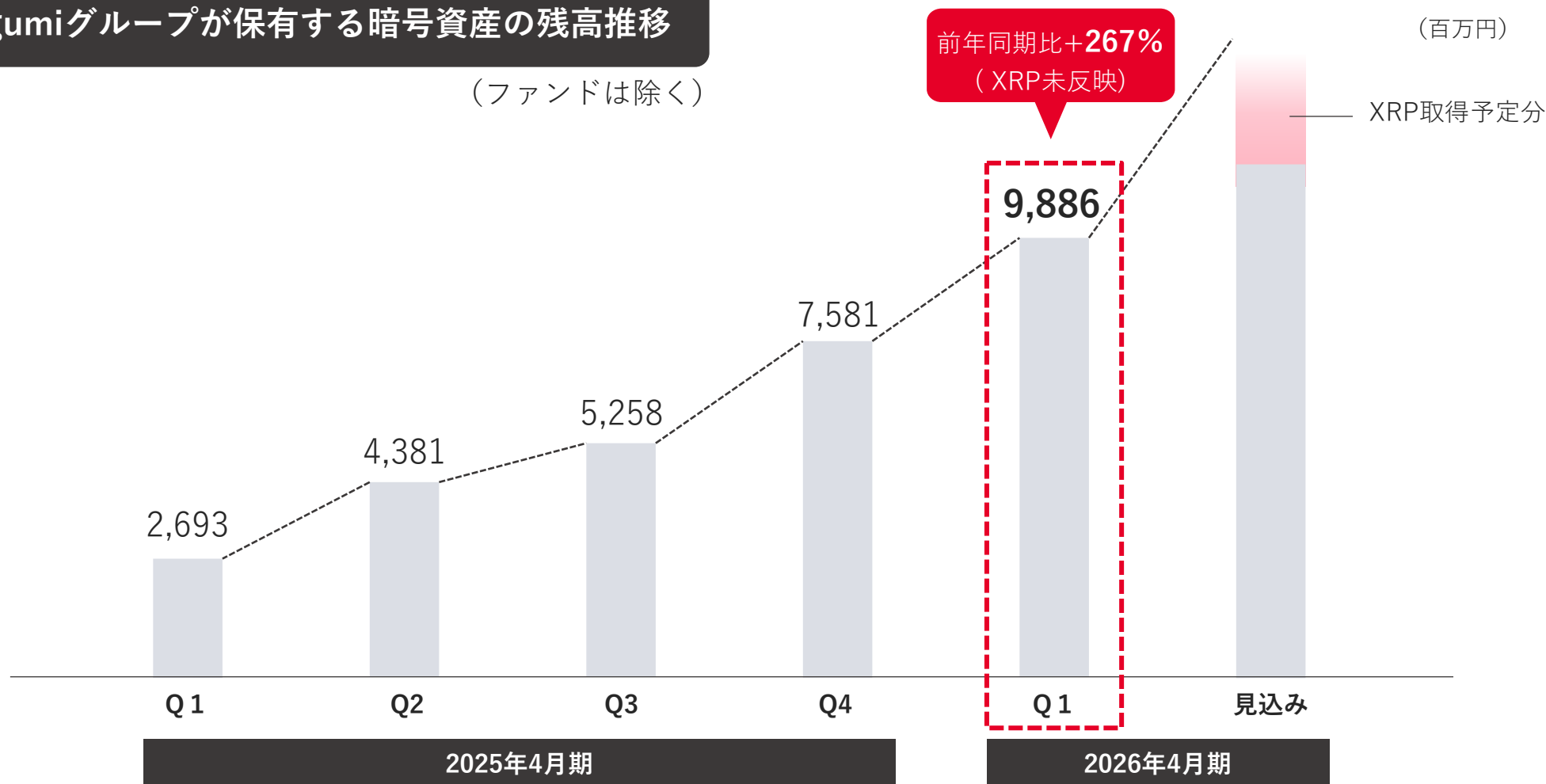
- Q1(7月末)残高：9,886百万円、前年同期比+267%
- XRP25億円分は今後取得予定（9月以降の取得であることからQ2以降に反映）

gumiグループが保有する暗号資産の残高推移

（ファンドは除く）

（百万円）

—— XRP取得予定分



※Q1 = 7月末、Q2 = 10月末、Q3 = 1月末、Q4 = 4月末

■ その他トピックス

■ その他トピックス： 2026年4月期 第1四半期（PL）

5 四半期連続の黒字、収益構造の改善により安定的に利益を創出

- ✓ 売上高はQonQで減収となり、新規タイトルの開発費が増加するも、暗号資産の受領により営業黒字を確保
- ✓ 経常利益も暗号資産評価益等により黒字を継続、足元の収益は堅調
- ✓ 中期計画に対して、順調に進捗

	2025年 4 月期				2026年 4 月期
	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 1
売上高	2,848	2,645	1,911	1,537	1,354
営業利益	65	114	119	71	72
経常利益	262	728	76	1,036	1,234
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△167	767	905	557	1,247

(百万円)

四半期・前年同期比較

(百万円)

QonQ	YonY
△183	△1,494
+1	+7
+198	+972
+690	+1,414

■ その他トピックス： 2026年4月期 第1四半期 セグメント別業績（PL）

モバイルオンラインゲームは投資先行、ブロックチェーンは収益安定

✓ モバイルオンラインゲーム事業

既存タイトルは堅調に推移。新規タイトルへの先行投資により営業赤字を計上するも、『オラドラ』のリリースにより大幅な利益貢献を見込む

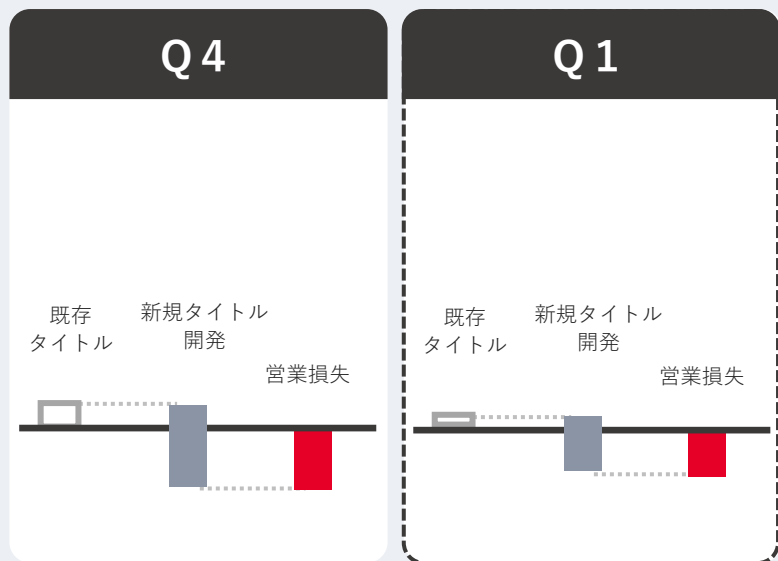
✓ ブロックチェーン等事業

エンターテインメント領域における暗号資産の受領により営業黒字を継続。金融領域は足元では営業赤字も、中長期的な収益拡大に向けた取り組みを着実に実行

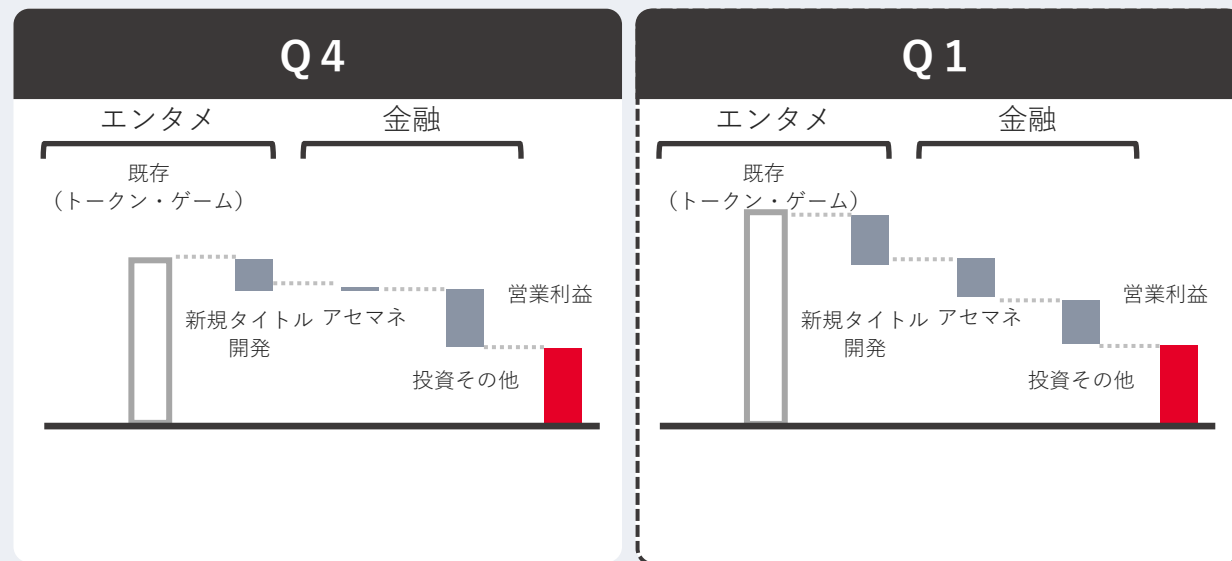
営業損益イメージ

□ プラス要因
■ マイナス要因

モバイルオンラインゲーム事業



ブロックチェーン等事業



■ その他トピックス：ブロックチェーン等事業の利益に関する補足説明

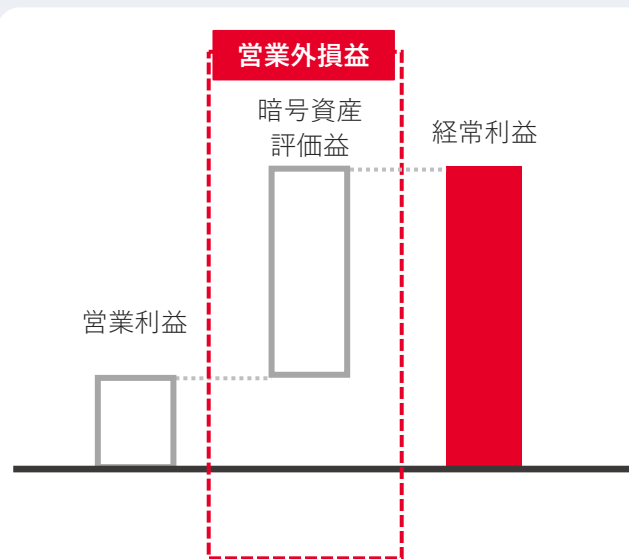
保有する暗号資産の価格上昇により、**大幅な経常黒字を継続**

- ✓ エンターテインメント領域は、継続的に受領している暗号資産の価格が上昇したことに伴い、経常利益を計上
- ✓ ノード運営・アセットマネジメント領域は、暗号資産の価格上昇に伴う評価益の発生等により経常利益を計上
- ✓ 投資その他領域は、VR FUNDにおける一部投資先の評価損を主因とした投資損失の発生により経常損失を計上

ブロックチェーン等事業の営業外損益イメージ（Q1）

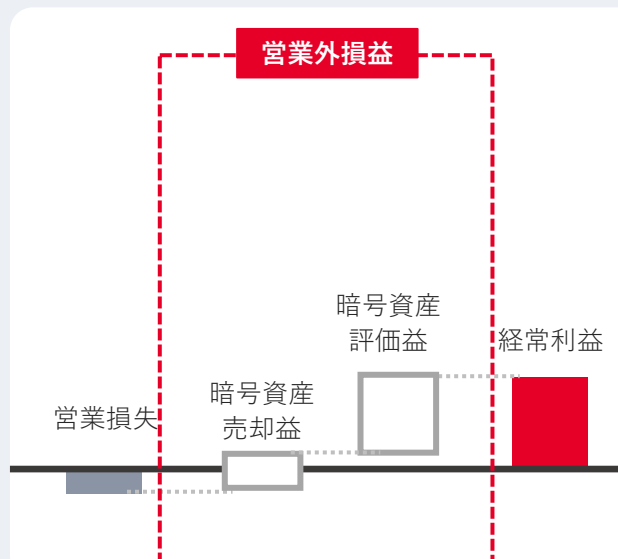
□ プラス要因
■ マイナス要因

エンターテインメント領域/ ゲーム、プラットフォーム



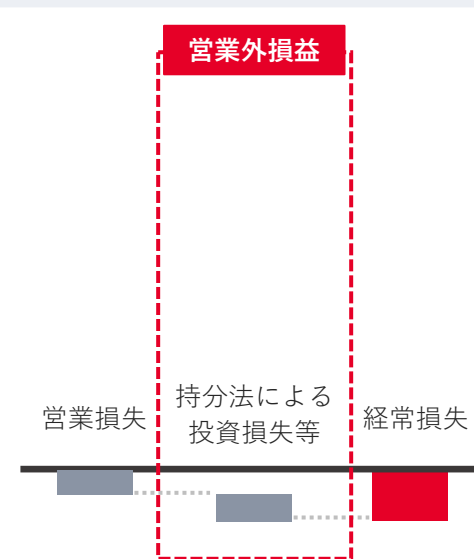
暗号資産評価益の計上により
セグメント別経常黒字を**牽引**

金融領域/ノード運営・ アセットマネジメント



暗号資産の評価益が寄与し、
黒字に転換

金融領域/投資その他

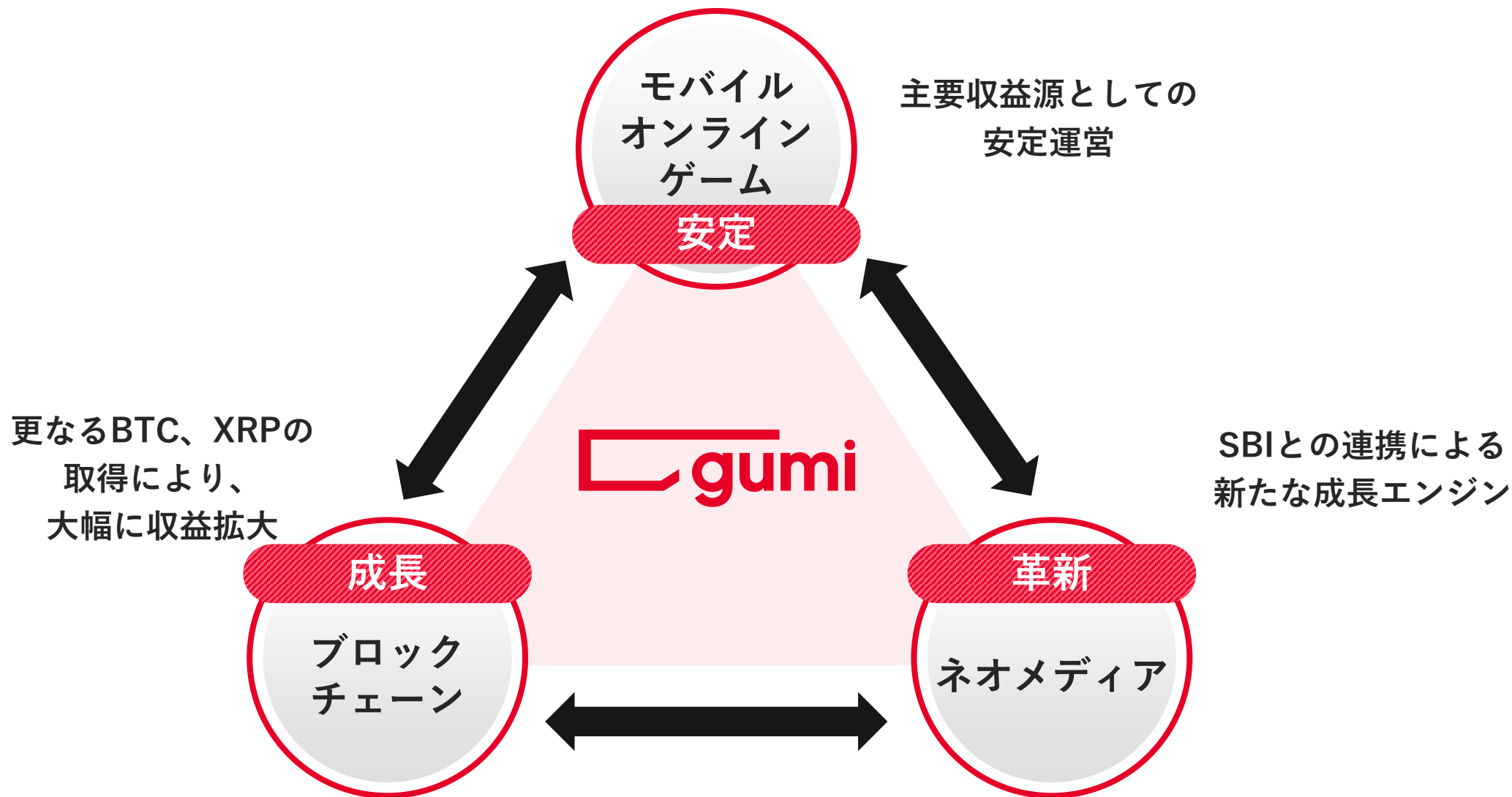


一部評価損が発生するも、
セグメント別黒字に**影響なし**

■ 各事業の進捗

各事業の進捗 — 事業方針

安定と成長と革新の三本柱を相互に連動させ、収益性と成長性を兼ね備えた事業ポートフォリオを構築



各事業の進捗 — モバイルオンラインゲーム事業

『ジョジョの奇妙な冒険 オラオラオーバードライブ』（シミュレーションRPG）

事前登録 **70 万人突破！**

～9月下旬のリリースに向けてマーケティングを加速～

事前登録の進捗

- 6月30日開始 → 11日で**30万人突破**
- 現在 70 万人突破
- SNSフォロワー数：増加傾向
- 開発進捗：計画通り進行中

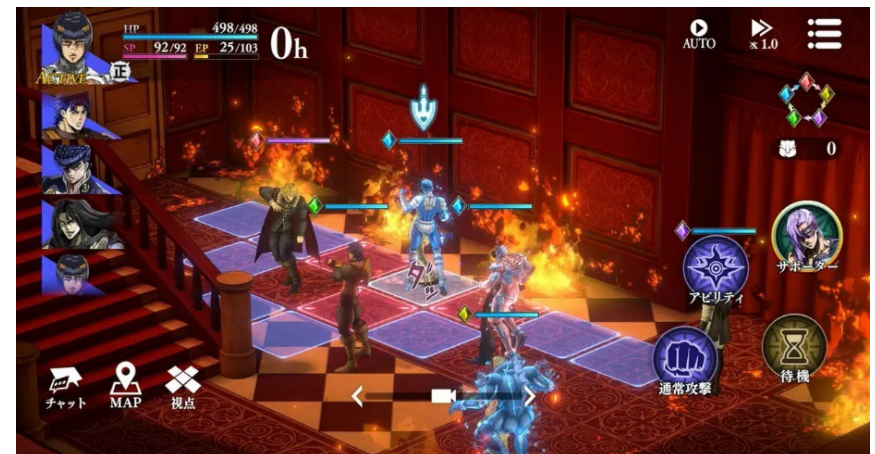
その他IPタイトル（2件）

- IPタイトル① : 2026年Q2 リリース予定
- IPタイトル② : 2027年以降リリース予定

受託案件（1件）

- 将来的なIP展開も見据えて順調に開発を進行中

『ジョジョの奇妙な冒険 オラオラオーバードライブ』 のバトルシーン



各事業の進捗 — ブロックチェーン等事業

エンタメ/ブロックチェーンゲーム

『ブレフロバーサス』（トレーディングカードゲーム）

事前登録まもなく開始

～10月下旬リリースに向けてマーケティングを加速～

開発進捗（ブレフロバーサス）

- 開発最終フェーズ
- グローバルでの同時リリースに向け、今後様々なマーケティング施策の展開を予定



その他IPタイトル（1件）

- 2027年4月期以降のリリースを予定
- **新規投資抑制方針**：市場環境を鑑み、ブレフロバーサス他1タイトル以外は開発中止



OSHIトークンの利用とSui Networkの活用

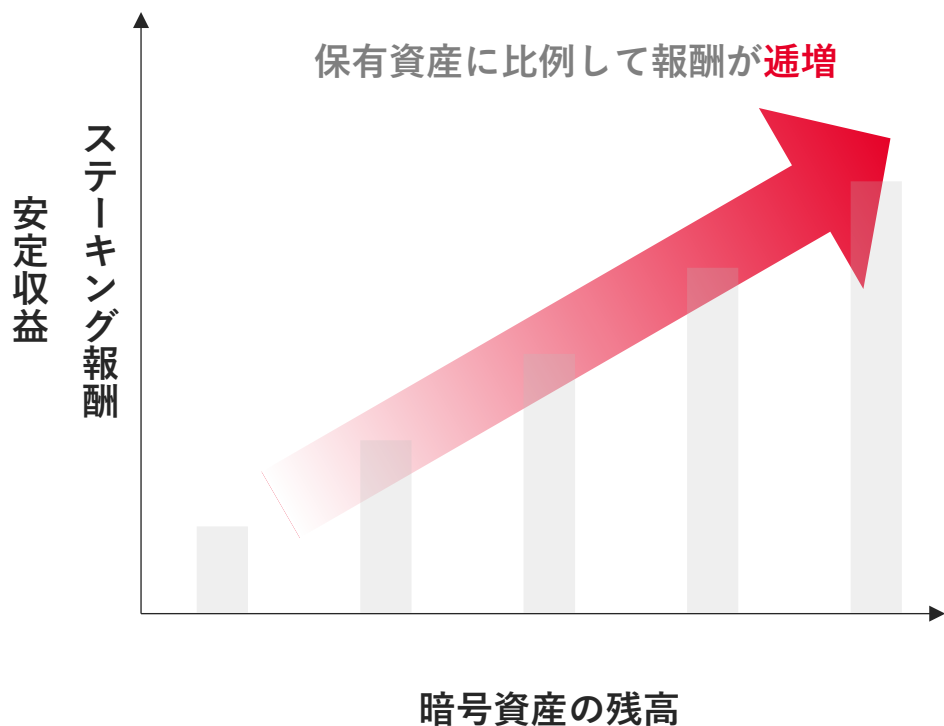
各事業の進捗 — ブロックチェーン等事業

金融/ノード・アセットマネジメント

インカムゲイン（ステーキング報酬）＋キャピタルゲイン（資産価格上昇）
資産の積み上げにより、収益拡大を見込む

インカムゲイン

保有資産に比例して報酬が**遡増**



キャピタルゲイン

兆 USD

暗号資産市場の時価総額(※)



2026年4月期 Q1

各事業の進捗 — ブロックチェーン等事業

金融/投資

累計約200億円規模のファンドを運営中。SBIとの共同設立を含め、さらに拡大を目指す



各事業の進捗－新規事業（ネオメディア事業）

ネオメディア事業

“IPを流通させるSBI” × “IPを育てるgumi”で、
グローバル市場を視野に入れた次世代メディア戦略を共創

SBIの構想

ネオメディア戦略

- 1,000億円ファンドによるIP取得推進
- 今後立ち上がるメディアプラットフォームでのIP活用

gumiの強み

- ゲーム・アニメ・音楽等のエンタメコンテンツの展開力
- 国内/海外の版權元との強固なネットワーク
- これまでの投資実績に基づく様々なIPへの知見/目利き

SBI × gumi の戦略的シナジー

①
アニメ・漫画・
ゲーム

- 版權元との連携強化による既存IPの更なる獲得及び新規IPの創出

②
音楽・芸能

- アーティストやインフルエンサーとの連携による新たなサービスの創出

③
スポーツ
その他

- リアルな体験を軸としたオフラインにおけるエンターテインメントサービスの提供

多角的な収益モデルを構築し、
新たな収益基盤を確立

■ 業績の推移

四半期業績の推移（売上高・利益）

ハイライト

- ✓ 売上高は、『WAR OF THE VISIONS ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス 幻影戦争 海外言語版』のサービス終了等により減収
- ✓ 営業利益は、収益構造の改善、及び暗号資産の受領により営業黒字継続

売上高

13.5億円
YonY $\Delta 52.5\%$
QonQ $\Delta 11.9\%$

営業利益

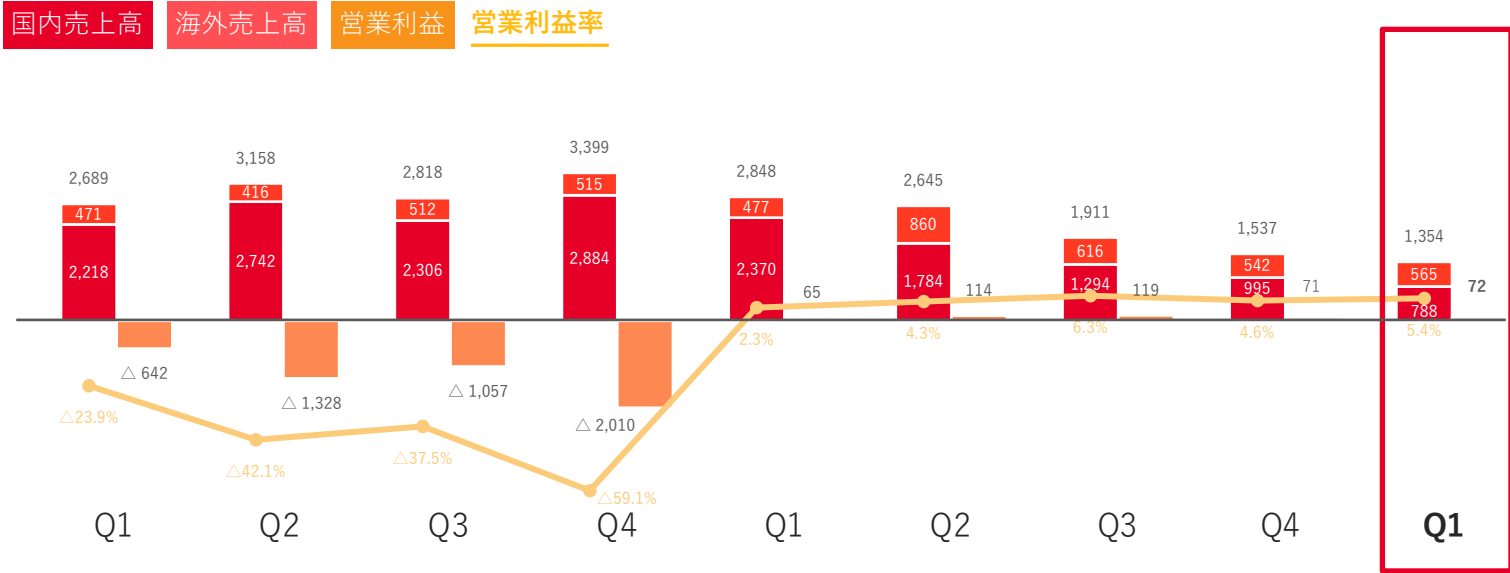
0.7億円
YonY $+11.0\%$
QonQ $+2.0\%$

海外売上高比率

41.8%

売上高及び営業利益

(百万円)



2024年 4 月期	2025年 4 月期	2026年 4 月期
------------	------------	------------

(百万円)	2026年 4 月期 Q1	2025年 4 月期 Q1	前年同期比	2025年 4 月期 Q4	前四半期比
売上高	1,354	2,848	$\Delta 52.5\%$	1,537	$\Delta 11.9\%$
売上原価	846	2,292	$\Delta 63.1\%$	1,032	$\Delta 18.1\%$
売上総利益	508	556	$\Delta 8.7\%$	504	$+0.7\%$
売上総利益率	37.5%	19.5%	-	32.8%	-
販売管理費	435	491	$\Delta 11.3\%$	433	$+0.4\%$
営業利益	72	65	$+11.0\%$	71	$+2.0\%$
営業利益率	5.4%	2.3%	-	4.6%	-
経常利益	1,234	262	$+371.1\%$	1,036	$+19.1\%$
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,247	$\Delta 167$	-	557	$+123.7\%$

四半期業績の推移（費用）

ハイライト

- ✓ 開発費は、外注費の減少等に伴い、QonQで減少
- ✓ 広告宣伝費は、Q 4 と同様に低水準で推移

開発費

8.6億円
YonY △39.9%
QonQ △7.4%

広告宣伝費

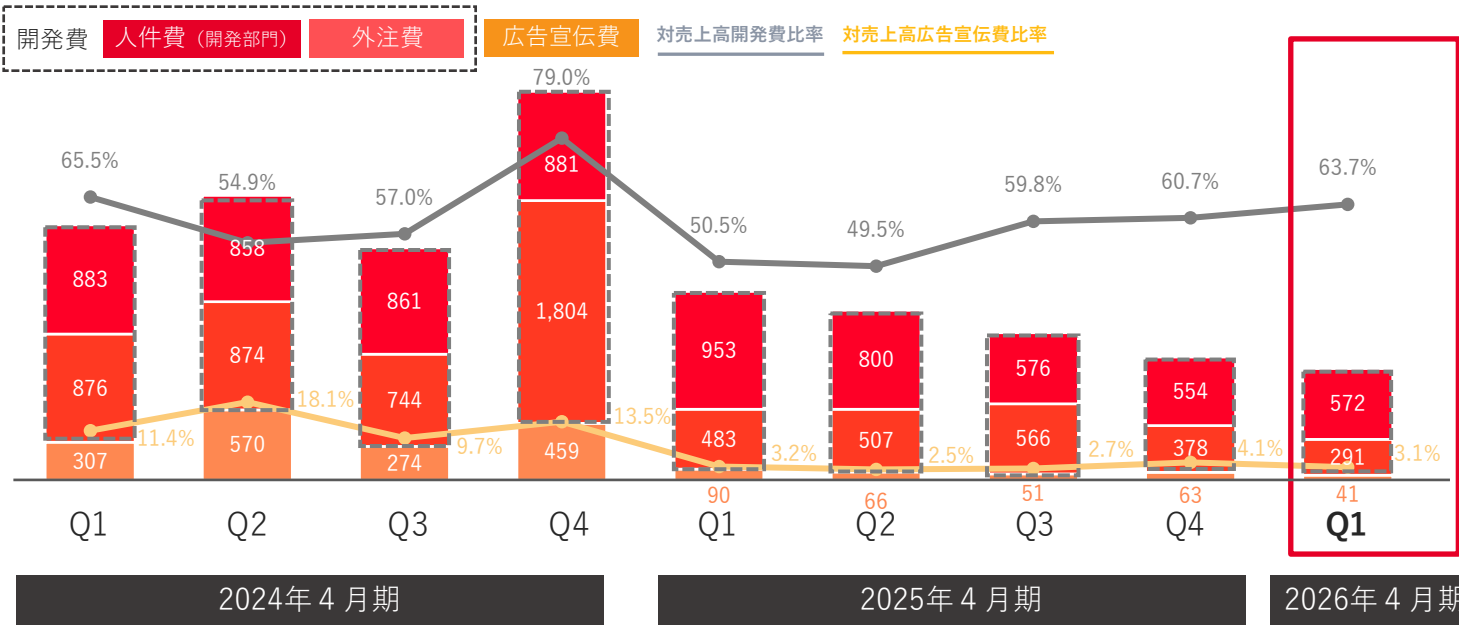
0.4億円
YonY △53.8%
QonQ △34.2%

対売上高広告宣伝費比率

3.1%

開発費及び広告宣伝費

(百万円)



(百万円)	2026年 4 月期 Q1	2025年 4 月期 Q1	前年同期比	2025年 4 月期 Q4	前四半期比
売上原価	846	2,292	△63.1%	1,032	△18.1%
支払手数料	228	872	△73.9%	321	△29.1%
人件費	572	953	△40.0%	554	+3.2%
外注費	291	483	△39.8%	378	△22.9%
通信費	115	188	△38.6%	113	+2.3%
その他	△361	△206	-	△334	-
販売管理費	435	491	△11.3%	433	+0.4%
広告宣伝費	41	90	△53.8%	63	△34.2%
人件費	155	164	△5.3%	146	+6.2%
その他	238	236	+0.8%	223	+6.6%

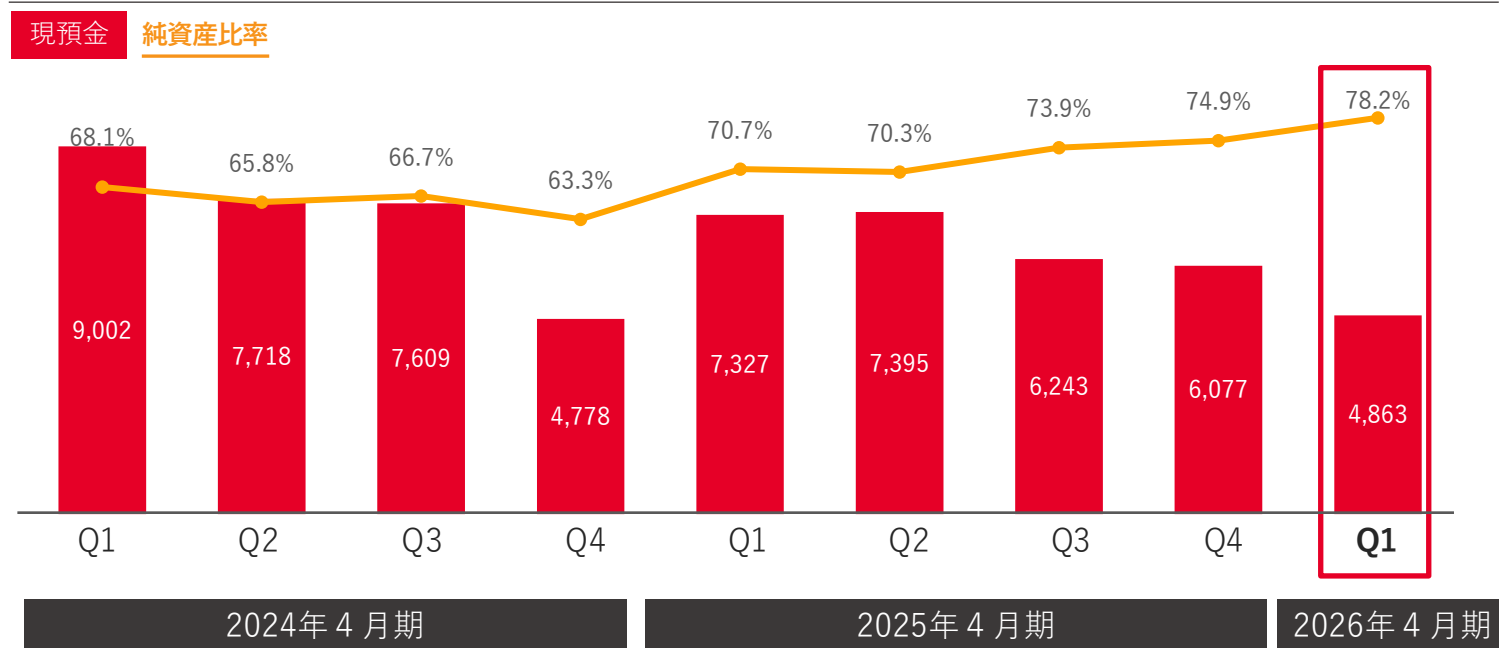
四半期業績の推移 (BS)

ハイライト

- ✓ 現預金は、法人税の支払い等により減少
- ✓ 純資産比率は78.2%と引き続き健全な水準を維持

現預金及び純資産比率

(百万円)



現金及び預金

48.6億円

YonY △33.6%

QonQ △20.0%

純資産比率

78.2%

(百万円)	2026年 4 月期 Q1	2025年 4 月期 Q1	前年同期比	2025年 4 月期 Q4	前四半期比
流動資産	16,275	13,429	+21.2%	15,736	+3.4%
現金及び預金	4,863	7,327	△33.6%	6,077	△20.0%
固定資産	8,577	8,063	+6.4%	8,148	+5.3%
総資産	24,852	21,492	+15.6%	23,884	+4.1%
流動負債	4,542	4,651	△2.3%	5,112	△11.1%
固定負債	868	1,648	△47.3%	892	△2.7%
純資産	19,441	15,192	+28.0%	17,880	+8.7%

四半期業績の推移（人員数）

ハイライト

- ✓ 国内、海外人員数は、組織再編が落ち着いたことにより、Q4と同水準

人員数（連結）

（人）

国内拠点

海外拠点

人員数（連結）

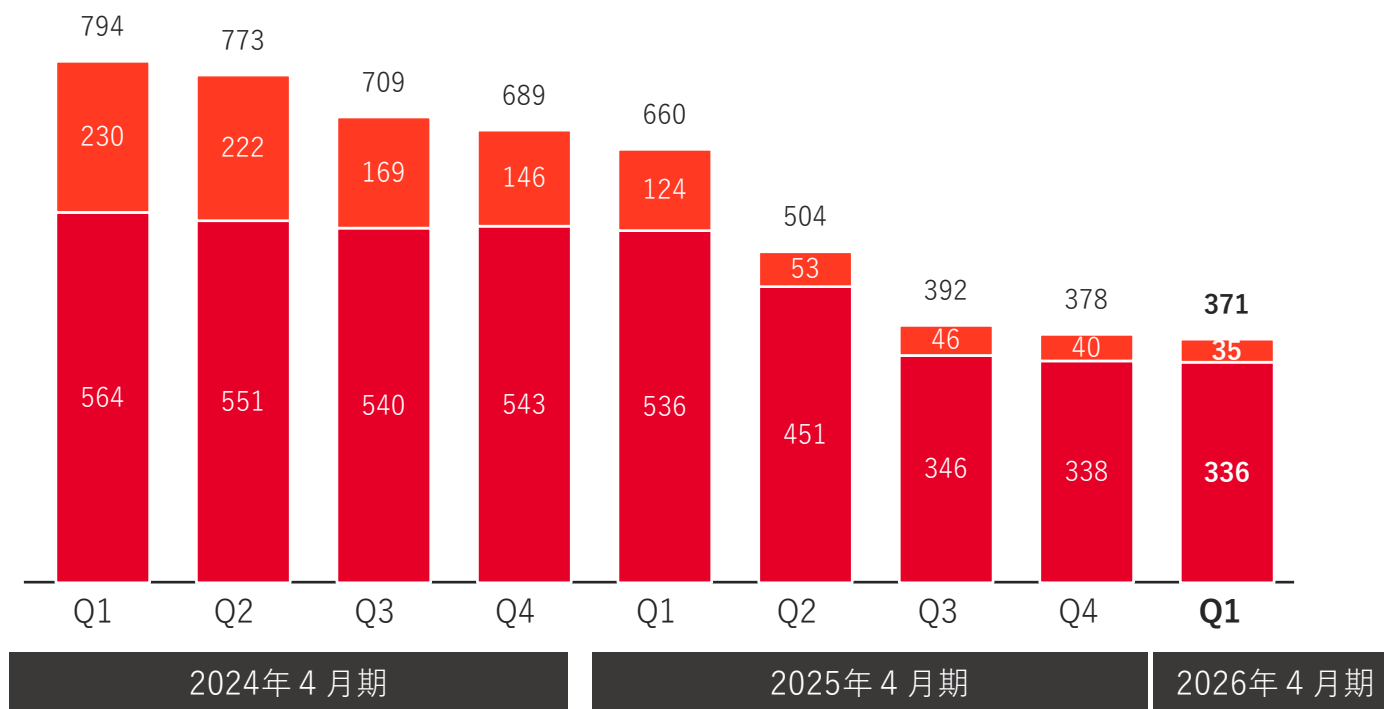
371人

国内人員

336人

海外人員

35人



■ Appendix

業績の向上並びに株価上昇に向けた具体的な取り組み

			2026年4月期			
			Q1	Q2	Q3	Q4
モバイルオンライン ゲーム事業	既存		黒字運営（運用赤字となる前に新規タイトルに順次人員移管）			
	新規	IP配信	ジョジョの 奇妙な冒険			
		受託配信	受託（将来的なIP展開を視野に入れ推進中）			
ブロックチェーン等 事業	OSHI3	コンテンツ配信	ブレフロ バーサス		AIコンテンツ	
		アライアンス公表	SPSTとのマーケティング連携、TIS・TOPPAN等につき、大手企業とのパートナーシップ開拓			
	ノード運営		TISと共同設立したHinode Technologiesにてノード運営事業を強化			
	アセットマネジメント		BTCに加え、XRPも戦略的に取得予定			
			SBIと共同で上場暗号資産ファンドを設立（2025年中に運用開始）			
	投資		当社グループが保有する投資有価証券の売却、 ファンドからの継続的な投資回収			
			上記資金を活用した暗号資産投資、M&A等			
	他		コンサル事業立上げ（NUE3）		SaaS事業立上げ	
他	新規事業の創出		SBIとの連携によるネオメディア事業の推進			

（※）上記スケジュール現時点の情報に基づいたイメージであり、状況により計画が大きく変動する可能性があります

運営タイトルの状況

タイトル名	配信時期	サービス状況
クリスタル オブ リユニオン	2016年 4 月	✓ 有力IPとのコラボや季節イベント等を実施 ✓ 季節イベント等を予定
WAR OF THE VISIONS ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス 幻影戦争 (※)	2019年11月	✓ 『ファイナルファンタジー』シリーズタイトルとのコラボ等を実施
ラグナドール 妖しき皇帝と終焉の夜叉姫	2021年10月	✓ 有力IPや自社IPとのコラボ等を実施 ✓ 季節イベントや自社IPとのコラボ等を予定
ファントム オブ キル -オルタナティブ・イミテーション-	2024年 3 月	✓ 季節イベントや自社IPとのコラボ等を実施 ✓ 1.5周年記念施策等を予定

OSHIOとは（再掲）

ブロックチェーン等事業の中核となる新たなトークン経済圏を立上げ（OSHIO）



ブロックチェーン技術

×

コンテンツプラットフォーム



既存の“推し活”をデジタル領域にまで拡張

新たなトークン経済圏を構築

本資料は、株式会社gumi（以下「当社」といいます。）並びにその子会社及び関連会社（以下、当社と併せて「当社グループ」と総称します。）の財務情報、経営情報等の提供を目的としたものです。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業等に関わる情報及び当社グループ以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料に含まれる全ての情報は、予告なしに変更される場合があります。

本資料は、当社の有価証券の取得に係る投資勧誘を目的としたものではなく、当社の有価証券への投資判断にあたって必要な全ての情報が含まれているわけではありません。



～ すべての人々に感動を ～